

知的財産専門職大学院  
点検・評価報告書（様式例）

平成〇〇年〇月

〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻





条、「▲▲大学○○研究科（知的財産専門職大学院）パンフレット 平成○○年度版」pp. 2－3、「学生便覧」pp. 2－4）

**1－3 目的の学内周知**

[点検・評価（長所と問題点）]

**1－3 目的の学内周知**

教員に対する周知は定期的なFD活動（本報告書○○ページ参照）を通じて、職員に対する周知は各種研修会で行っていることから、徹底しているといつてよい。そのことは、日々の教育活動において○○○という点に現れている。

一方、平成○○年の後期終了時に実施した学生に対するアンケートの結果、「本研究科の目的を知っていますか」の問いに対して、○○%の学生が知らないとの回答をしている。このことは、○○○という点を考慮しても、今後の課題といわざるをえない。（根拠・参照資料：「平成◇◇年度 学生に対するアンケート」）

[将来への取り組み・まとめ]

**1－3 目的の学内周知**

平成○○年からは、新入学生に対するオリエンテーションのみでなく、各学期終了時行う学生と教員との懇親会においても、周知するようにする。

※ 以下の大項目も、同様に作成してください。

## 2 教育内容・方法・成果

### 2-（1） 教育課程・教育内容

[現状の説明 2-（1） 教育課程・教育内容]（「評価の視点」 2-1 から 2-12 まで）

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取組み・まとめ]

### 2-（2） 教育方法

[現状の説明 2-（2） 教育方法]（「評価の視点」 2-13 から 2-29 まで）

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取組み・まとめ]

### 2-（3） 成果

[現状の説明 2-（3） 成果]（「評価の視点」 2-30 から 2-31 まで）

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取組み・まとめ]

## 3 教員・教員組織

[現状の説明]

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取組み・まとめ]

## 4 学生の受け入れ

[現状の説明]

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取組み・まとめ]

## 5 学生支援

[現状の説明]

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取組み・まとめ]

## 6 教育研究等環境

[現状の説明]

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取組み・まとめ]

## 7 管理運営

[現状の説明]

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取組み・まとめ]

## 8 点検・評価、情報公開

[現状の説明]

[点検・評価（長所と問題点）]

[将来への取組み・まとめ]

〈終章〉

この度の点検・評価によって、各項目のレベルⅠ◎の法令遵守に関する事項については、すべての点について基準を遵守していることが確認できた。大学基準協会が法令に準じて定める基本的事項については、特に、項目の○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○については、当初の目的を達成していると自負しているところである。ただ、直ちに問題になる点はないものの、いくつかの点で改善の必要があることを教職員で認識できたことは自己点検・評価の成果といえる。

また、各項目のレベルⅡについていえば、現在の教育研究水準を今後とも維持し、さらに向上させていくシステムの構築という点からすると、全般的に盤石とはいえない状況にある。

特に、項目○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○の評価の視点○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○については、今後の改善・向上が必要である。

この点については、本章の中でも記述したように平成○○年までに○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を具体的に改善していく。

その他、項目○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○の評価の視点○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○については、定期的には実施はしているものの、成果があまり出ていない。

この点についても、本章の中で記述したように○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を効果的に実施していくことで、継続的な改善に結び付けていきたい。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

以上